

「福島県の妊産婦の皆様の健康を見守ります」

福島県で子供を産み、育てようとする妊産婦の皆様が多くが、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、避難生活を送り、生活習慣の変化からのストレスや放射線への心配事を抱えています。

そこで、福島県で子供を産み、育てようとする妊産婦の皆様の現状、からだやこころの健康度、ご意見・ご要望を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供すること、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげることを目的として「妊産婦に関する調査」を実施しています。

【対象者】

毎年度、県内で母子健康手帳を交付された方、調査期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で里帰り分娩をされた方。

調査年度	対象者	回答数
平成 23 年度	1 万 6001 人	9316 人 (58.2%)
平成 24 年度	1 万 4516 人	7181 人 (49.5%)
平成 25 年度	1 万 5218 人	7260 人 (47.7%)
平成 26 年度	1 万 5125 人	7132 人 (47.2%)
平成 27 年度※1	1 万 4572 人	6999 人 (48.0%)

出産約 4 年後に
フォローアップ調査を実施

対象者	回答数
7252 人	2554 人※2 (35.2%)

※ 1 暫定値 (平成28年10月31日現在)、※ 2 暫定値 (平成28年 8月31日現在)

【調査方法】

対象となる妊産婦の方へ調査票をお送りし、回答いただきます。

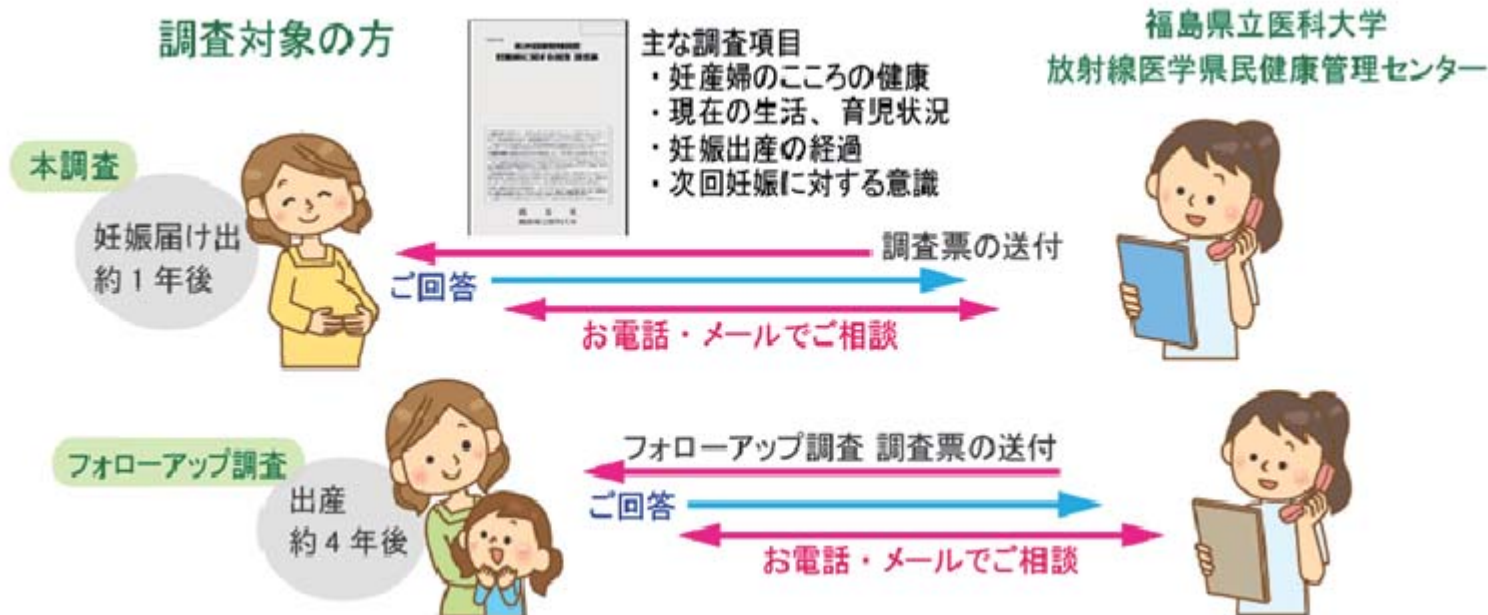
(平成28年度調査より、回答は郵送またはオンラインで受付)

主な調査項目は、次のとおりです。

- ・妊産婦のこころの健康度
- ・現在の生活状況 (避難生活、家族離散の状況)
- ・出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- ・育児の自信
- ・次回妊娠に対する意識

福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト、妊産婦に関する調査リーフレットをもとに作成

【調査の流れ】



●平成28年度の本調査対象者

- ①平成27年8月1日から平成28年7月31日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

●平成28年度のフォローアップ調査対象者

平成24年度調査に回答いただいた方で、平成23年8月1日から平成25年4月8日に出産された方
→妊産婦調査では、平成28年度調査からオンライン回答を始めています。

放射線医学県民健康管理センターウェブサイトから、パソコンやスマートフォンでお好きな時間に回答ができます。

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

平成23年度調査	電話支援対象者数	1,401人	(回答者の15.0%)	
平成24年度調査	電話支援対象者数	1,104人	(回答者の15.4%)	
平成25年度調査	電話支援対象者数	1,101人	(回答者の15.2%)	
平成26年度調査	電話支援対象者数	830人	(回答者の11.6%)	
平成27年度調査	電話支援対象者数	770人	(回答者の13.1%)	※平成28年4月30日現在
平成23年度フォローアップ調査	電話支援対象者数	375人	(回答者の14.7%)	

※平成28年5月31日現在

【電話による相談内容】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 平成27年度 ※ (同じ順位でした)	平成23年度の フォローアップ
1位	放射線の 心配や影響	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康	母親のころや 身体の健康
2位	母親のころや 身体の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	放射線の 心配や影響
3位	子育て関連	放射線の 心配や影響	子どものころや 身体の健康	家庭生活に 関すること	子育て関連

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

※暫定値 (平成28年8月31日現在)

【早産率、低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率】

早産率、低出生体重児率、先天奇形・先天異常発生率は全国調査の値や一般的な水準と変わりませんでした。

(%)

	早産率		低出生体重児率		先天奇形・先天異常発生率	
	本調査	全国調査	本調査	全国調査	本調査	一般的な水準
平成 23 年度	4.75	5.7	8.9	9.6	2.85	
平成 24 年度	5.74	5.7	9.6	9.6	2.39	
平成 25 年度	5.40	5.8	9.9	9.6	2.35	3~5 (2014 産科診療 ガイドラインより)
平成 26 年度	5.43	5.7	10.1	9.5	2.30	
平成 27 年度※	5.66	—	9.7	—	2.22	

全国調査：人口動態統計における割合および発生率

早産：妊娠 22 週から 37 週未満で生まれた赤ちゃん
低出生体重児：2500g よりも小さく生まれた赤ちゃん

※暫定値（平成28年 8月31日現在）

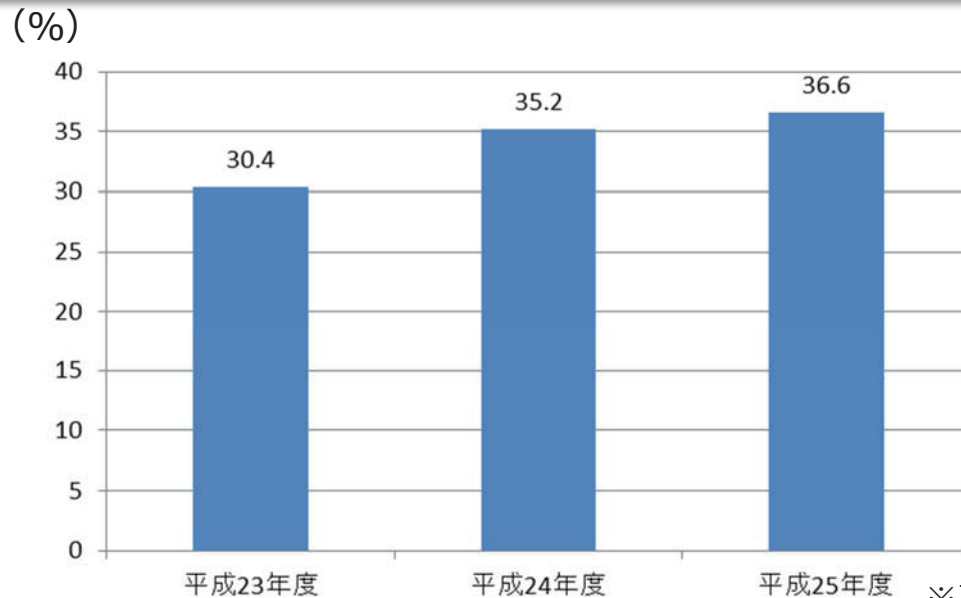
妊産婦に関する調査リーフレットをもとに作成

【乳児の栄養方法の推移】

母乳のみで育てていると
回答された方の割合



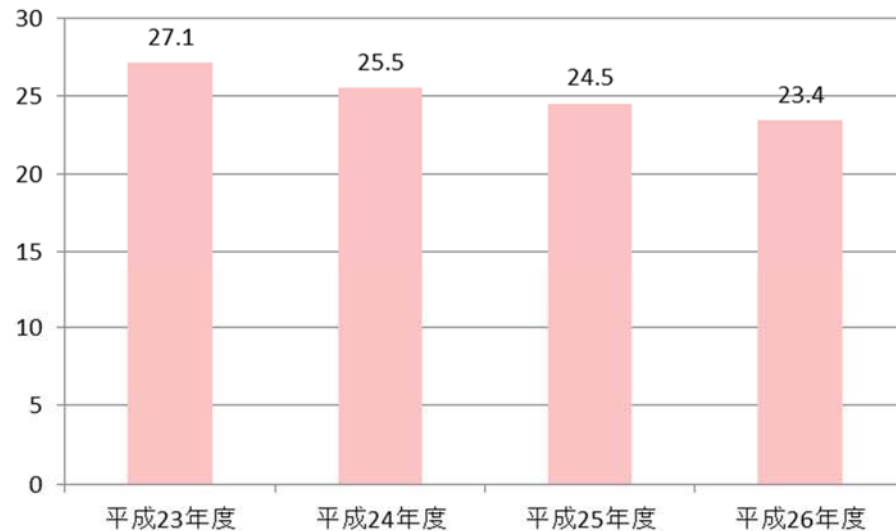
母乳で育てる方が
増えてきました



※平成26年度は
質問項目なし

【妊産婦のうつ傾向の推移】

(%)



「気分が沈みがち」「物事に興味がわかない」という設問に、両方あるいはいずれかに当てはまると回答された方の割合



妊産婦さんのうつ傾向は徐々に減ってきていますが、まだ高い水準にあります